

地域コミュニティ活性化事業

森本地区町会連合会

目的

住民相互の交流等を通じて連帯意識を醸成し、地域コミュニティの活性化を図る

概要

- (1) 広場を会場として7月から11月までの間地域住民を対象に朝市を実施
- (2) 広場を会場として7月から11月までの間地域住民を対象にコンサートを実施
- (3) 広場を会場として6月から11月までの間地元学校のイベントをサポート
- (4) 広場を会場として6月から11月までの間地元町会のイベントをサポート
- (5) 広場を会場に12月から3月までイルミネーションの設置

実施スケジュール

時期	内容	場所	備考
4月中旬～ 11月中旬	キッチンカーでの飲食 地元住民によるイベント	森本駅東広場	
6月中旬 11月中旬	地元飲食店の食事提供 地元学校によるイベント	森本駅東広場	
7月中旬～ 11月中旬	軽トラックによる朝市 地元ミュージシャンによるコンサート	森本駅東広場	
12月下旬 ～3月下旬	イルミネーション設置	森本駅東広場	

事業の運営体制

役割	人数	備考
事業計画	10人	もりえき広場活用協議会、森本商店街振興会、地元学校
広報	20人	もりえき広場活用協議会、森本商店街振興会、地元町会、森本公民館、IR, JR 西日本バス
事業に必要なものの	10人	もりえき広場活用協議会、森本商店街振興会、森本公民館
運営	20人	もりえき広場活用協議会、森本商店街振興会、森本公民館、地元学校

事業実施にあたり工夫した点など

- 朝市で野菜や果物を販売したり、キッチンカーで飲食を提供しても、長時間その場所に人が集まらないため、コンサートやダンスやバトン等のアトラクションを行うことにより、大勢の人が集まり、楽しみながら長時間滞在できるようにした。
- 子供による花植や学生が企画したイベントを催すことにより、地元住民と学校や生徒たちが繋がりを持てるようにした。

事業の成果

- 地域の活性化が高まり、ゆっくり過ごせる賑わいが生まれた。
- 地元住民同士のみならず、住民と学校や生徒たちとのコミュニケーションが楽しめ、よりいっそう親睦できるようになった。
- もりえき広場活用協議会、森本商店街振興会、森本公民館、各町会同士の発展に寄与できた。

課題や今後の展望など

- 事業を行うにはどうしても資金が必要で、徐々に商店街、商工会、町会から寄付して貰えるようになった。

しかし、毎月事業を実施するにはそれだけでは足りず、出店される人たちからも高額を徴収することができない。

そうなると、今後継続が難しくなる。

